

東北のまはる

行發日廿日十一月三月每 行發日廿日十一月三月每... 吉梅越堀

TAIRA TELEPHONE

9

遺憾なくアホー振りを發揮した 會長の下

亦鈍栗社員の集團は當然? 磐城無盡商會社員等の非禮的行為は 延ひて社の信用を失墜せん

本縣無盡業界中... 法による法規の裏に隠れてである。 兎も角も磐城地方に多數不徳不誠意極まる事を敢行而して斯る會長を見做ふ社

東北春秋

某寺の坊主、入れるなど はないが口一杯にブラチ ナかなどの入歯をして贅

三猿文庫を觀る

平町第一の讀書家であり 亦藏書家である、 諸橋 元三郎氏の所蔵による貴重

事であるがそれは同氏の 平素に於ける行為を區民 が等しく熟す所以による

これはドツチが無理

過日のことである。 記者が廣野村へ所用があ つて行つた時のこと

社告

右之者不都合の行為有之解雇致候 に付本社とは全々關係無之候 東北商工時報社 永山秀夫

投稿歓迎

見ることもなく天井を仰げればざらんとする心床をしを る見るともなく天井を仰げればざらんとする心床をしを

上岡村通信

主人が頗る眞面目の人なので泊客が多い。寒いと云つても除月二月魚問屋としての泉新助が...

事務熱心と

勤直で好評ある

木戸郵便局長 永井耕一氏

いつも木戸郵便局へ行つてゐる。感心することは局長局員の熱心なる職務振り...

田中清太郎親分

浪江高瀬橋改

警相切つての請負業者であつたが開闢以來初代驛...

相双人材寸評

○廣野村長越智又助氏 温容迫らざる君子肌の人廣野村の本締めとして村民の衆望を擔ふ就任以來現在の明徳望による所以なるは論なし

長塚村魚市場

に絡はる一方策者の不徳義を憎むと共に 現場主佐々木丑松氏の立場に同情の聲多し

長塚村魚市場に絡る紛擾間に多大の犠牲を拂ひ今日の題は茲に事新しく云ふ迄魚市場の盛因をなした佐々木丑松氏に對する同情の聲示す、頭と腕の人たるや論

田村實業銀行

頭取 永山 徳一 小野 新町

一徳合資會社

本社仙臺市北一丁一番地 支店 平町南町九番地

大東京市を擧げての 祝皇太子殿下御生誕

祝賀會

二月廿三日午前六時卅九分 皇太子殿下御誕生あらせらる 万世一系寶祚の盛んなる實に天壤と共に窮りなし 九千萬同胞の胸は高鳴り血は湧きて萬歳を叫ぶ 爲めに全土の山河震撼す

伏て惟るに叡聖文武今上陛下には御治三十八年攝政御就任より既に十三年風夜内外の國勢政事に御精勵御乾德彌が上に高く 皇后陛下には御坤德淑かに御仁慈殊に深くおすまし 三皇女殿下は日に増し御成長遊ばさる かくも彌榮へゆく竹の園生にいま皇太子殿下の御誕生を拜し奉りて 兩陛下皇太后陛下御の満悦 御安堵御慈しみかばかりか拜察するに畏き極みである。

方今列國は稀有の世變に際會すると雖も幸にして我が帝國には天祐と慶福の裕なるあり 歡天喜地 國民の心はますます 希望に輝き渡る 慶雲大内山に棚引くを仰き謹みて我皇室の八千代に御榮えあらんことを神かけて祈り壽き奉る本月廿四日にいと盛々と歡喜のうちに祝賀會を舉行せらるゝ大東京市民諸氏の歡悦また筆紙の盡す處にあらず 本社は此所に恭しく大東京市民諸氏と共にちう心より此盛典を祝福するものである

福島縣石城郡平町
東北商工時報社

皇太子殿下御生誕祝賀會 在京福島縣一人

郷士人材の誇り

澤渡村出身
小泉三男氏一家
のお喜びを
お知らせする

會つて磐城郷士の生むた實業界の奇才、日本の松屋大百貨店の外賣部長である小泉三男氏の令名は汎く各新聞紙上に謳はれてゐるが之は亦、三男の目の中へ入れても入れ切れない可愛い々々妨チヤンが非常時軍國にふさわしい立派な容姿者として而かも大東京何百萬人の中から撰ばれて報知、朝日、時事を初め各新聞社が競つて容姿を撮影、紙上に掲載された金を山程積んで大東京では一寸むづがし此の名譽とお喜びの代表者になつた父君三男さんの喜びは實に目見る如くではなからうか同時に郷士の誰れも共々悦んでやらねばならぬ。

『妨チヤンの肇君はトテモ可愛いとして利發な子だ』
『嬢チヤンの貴枝子さんはまるでお人形のような美しい方で世話云ふ、ゆりの蔓茄子はならぬ譬ひて令婦人は某男爵家の令嬢で容姿學識兼備の方である』
一家も極く睦まじく至て氣輕な親切な人であるお宅は淀橋下落合の閑静な場所へ三男氏の考案によると云ふ堂々たる優雅の建物に納ま

つてあられる
その當時の寫眞は本社に在るが出版までに間に合
はなかつのを遺憾とする
が次號には掲載するから
葉宛づつ贈呈して悦を領
つてのニコ々々振りをして
その折にはお一家揃つことにする

常磐炭礦の三傑

隅田川炭礦々主

小田吉治氏

『健闘、亦人生の本能にし尤も誇りとする傑物小田吉治氏を上げて進む人、或は云て恐らく欣懷なり』として治氏こそは常磐炭礦界に異今や全國長者中の表に輝か彩を放つ勇者である。しき令名を伍列し益々進む性剛健にして、俠氣に富むめて至るを知るべしであるで大成を期す。磐城郷士の氏の事業ます〜順風に

株式會社萩原礦業所

萩原申八氏

勝つて誇らず負けてヘタバ不況を問はず常々々々陽光といふ即ち手腕本よりなりラス膽龜の如き無邊の意志と團樂とに掩はれつゝ事業と所有する人、萩原申八氏の進殖を見、今日に至る。用取引が之れある所以に外こそは當代稀に見る人格織是れ悉く氏の徳望と信用のキリン兒である見よ全山好や炭礦界中の第一人者なり

杉山炭礦礦主

杉山今朝吉氏

大内郷村の軍人分會長として非常時國家に盡忠の誠を致し敬神家として亦決してウソを言はぬ人である。經營する炭礦の優秀なる點に於て全國的に知らるゝに至る。尙ほ愈々進んで大成の境地に至らんとし餘すなし。温良なれど正義のため血涙を惜まざる快男である。



石城郡好間村
小田吉治
萩原礦業所
杉山炭礦礦業所
杉山今朝吉

營業品目
三色銅網版
一色銅網版
二色銅網版
三色銅網版
高張印刷
出張印刷
高級印刷
加藤寫眞製版所
電話九段(33)三五五三番
東京替振七〇八八番



仙臺屋の靴
製造販賣
平町橋小路四番地
仙臺屋靴店
店主 渡邊勘大夫

東北著名銀行會社 商工業業案内

創立 昭和七年
資本金 金九百萬圓
總預金 七千參百萬圓

七十七銀行

本店 仙臺市南町
支店 仙臺市南町
支店 原町支店
支店 白石町支店

宮城銀行

仙臺市本庫 本店仙臺市元寺小路
晝夜營業 自午前九時 至午後八時 東一番町出町所
白石町支店

仙南銀行

仙臺市

片倉製糸株式會社工場

宮城縣白石町

大味商店

仙臺市大町通り

藤崎百貨店

仙臺市驛前

政岡豆・九重本店

仙臺市驛前

太田秋之助

相馬郡原ノ町

福島市

福島縣農工銀行本店

福島縣構内

辨當部 洋食部 私設待合所

伊藤直祐
電話五三九番

福島市中町

福島名物 菊屋の羊羹

電話一九三番

片倉製糸株式會社

郡山工場

郡山無盡株式會社本店

郡山驛前

郡山魚市場

相馬郡原町

原町紡織株式會社

土木請負業

時田子之助

相馬郡小高町

自動車業

佐藤政藏

相馬郡原ノ町

土木請負業

田中清太郎

双葉郡長塚

保證責任

長塚信用購買利用組合

專務理事 西山千代吉

保證責任

新山信用購買利用組合

專務理事 佐藤五郎

双葉郡長塚 校長 岩東マサ

石川醫院

双葉郡夜ノ森驛前

落成 旅館

双葉郡夜ノ森驛前

壽屋

双葉郡夜ノ森驛前

村井商店

味噌醬油酒類

林藥局

相馬郡小高町

春三月の樂天的

保養地飯坂溫泉案内

花水館 電話二二三番

角洲閣 電話六、一八、一〇六

泉瀧 電話九、二一九

小川屋 電話二二八番

赤喜屋 電話一〇番

若喜屋 電話四八番

田丸屋 電話一七二番

千人風呂 電話二二三番

天王寺溫泉

立花屋旅館 電話一四五番

橋本館 電話二七番

湯野屋 電話五番

泉屋本店 電話三七番

東野館 電話一四八番

前野屋 電話二四八番

稻荷屋 電話三六、一三六番

龜屋 電話一三五、二六〇番

信夫屋 電話二二七番

飯坂湯野藝妓屋

龜の日の江家木屋

春藤の日の江家木屋

竹春藤の日の江家木屋

伊達郡湯野村 村長 安田德治

助役 畠德七

湯野村消防組頭 篠木滋

營業普及會本部 高橋加賀次郎

飯坂小學校校長 一二階堂英一

福島電燈株式會社 飯坂出張所

日東製糸株式會社 伊達工場

土木建築請負業 菱沼寅吉

伊達郡湯野村